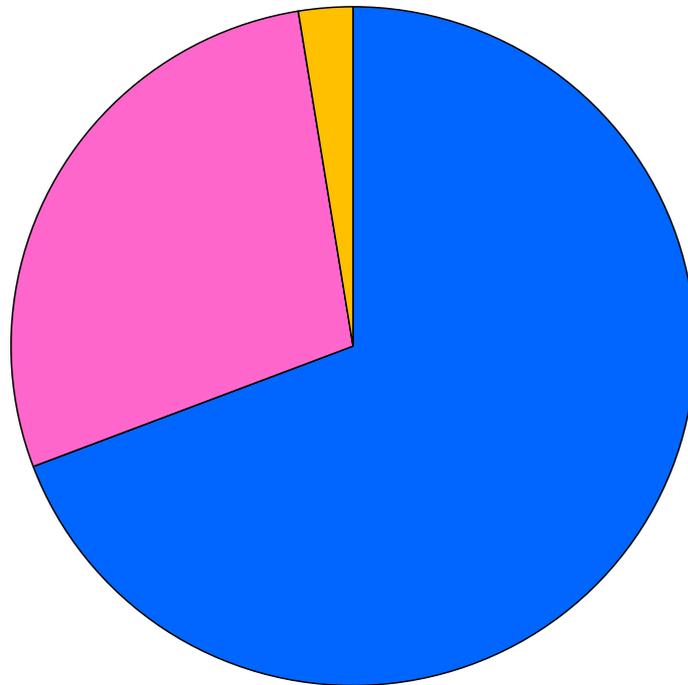


【参加対象者限定】第9回教育のデジタル化研究会 属性回答集計

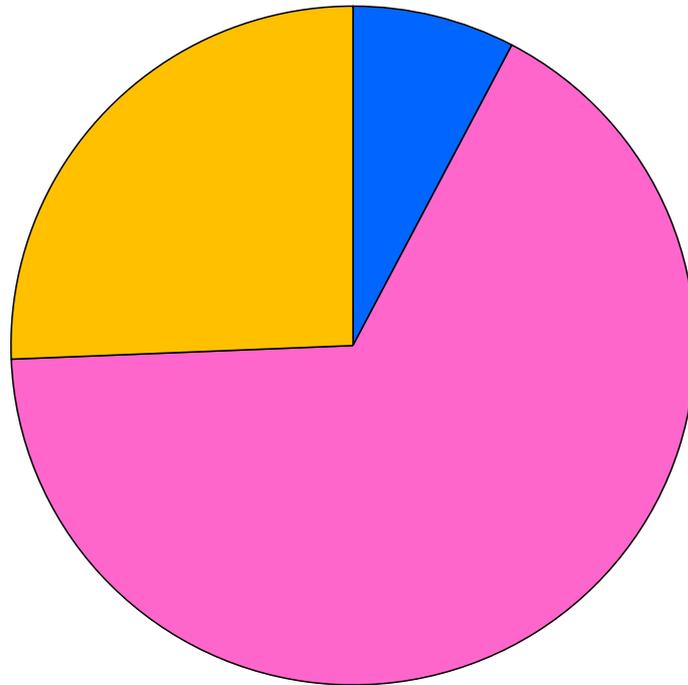
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	27	69
2	女性	11	28
3	性別無回答	1	3
合計		39	



【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	3	8
2	リーダー（35～59歳）	26	67
3	シニア（60歳～）	10	26
合計		39	



質問1 第9回教育のデジタル化研究会 2020
のご意見、ご感想をお聞かせください。

【自由記述】

- ・アプリ開発できるんでしょうか。
- ・双方向文化を定着させるためには、DPP利用までのハードルを極限まで下げることが重要だと思います。せっかく素晴らしい機能があるのに広まらないのは、本当にもったいないことです。ぜひご検討をお願いします。
- ・途中からの参加で失礼しました。次回以降また、よろしくお願いします。
- ・要望された機能が着実に実装されていることが素晴らしいと思いました。講師画面もより感覚的に使えるようなレイアウトだと思います。
- ・加藤先生のワイプ係のような、人間味のある双方向性も大事にした、文化形成を含めて、学生も巻き込んだ大学教育を作っていければと思います！
- ・加藤先生の利用事例報告大変に素晴らしかった。また学生さんへの接し方等、気さくで接しやすい人間味を感じました。自分が学生時代にお会いしたかった先生だと思います。
- ・急速なデジタル化にむけたシステムですので早くこのシステムが普及する手だてにお手伝いさせて頂きたいです。
- ・ありがとうございました。学内のシステムとの併用をうまく行えれば効果的なのです。それには、教員の意欲とIT度が鍵です。
- ・DPP以前の問題ですが、リモート講義自体を円滑に行うためには、講師が話しやすくするためのワイプ係、学生の活発なコメント発信を促すための一部の生徒がサクラとなりコメント発信をお願いするなど工夫が必要なことが分かりました。また年配の先生にDPPの活用は難しく、若手の先生か、年配でも理系の先生をターゲットにした方が良いと感じました。
- ・先生方の活用事例が大変すばらしく、また学生からの反応も盛り込んでいただき、大変勉強になりました。DPPはそれに応えるべく進化を続ける必要があると強く感じました。
- ・kk2ログイン不要の機能は使う側にとってはかなり画期的でハードルが下がるので良い。例えば会社のイベントなんかで開催日や内容について簡単にアンケート取る時にも使える。教育の現場意外にも利用の場が広がる。加藤先生のワイプ担当は面白くて良いと思った。どう広めるかが課題
- ・あんけ 永岡先生のコミュニケーションの図の「多対多」は、SNSが登場した2005年からということで、今後の発展がどのようになっていくのかとても興味があります。秋田先生がコロナ禍で、RAとしてDPPを使った時に、学生の反応が変わった、積極的に質問

がきたというお話を伺いましたが、RAとしての活用についての可能性を感じました。また加藤先生のワイプ係はとてもユニークで、桜の回答含め、オンライン授業の貴重なノウハウだと感じましたし、ラインやZOOMを使うことで、多対多のコミュニケーションへと近づくことができるのではないかと思います。多対多のコミュニケーション、授業は高度ですが、とても興味深いです。いずれにしても、ZOOMなどは150の設定がありますし、実際使ってみないとわからない、DPPも多くの機能があります。使い倒してみないとわからないところがあるので、黒瀬先生がおっしゃる通りもっとオープンに秋田先生や加藤先生のように使っていただける先生を増やしていくことが大切ですね。おつかれさまでした。

・Zoom +DPPで、オンライン授業+オンライン試験をやられた加藤先生の実践レポートが大変有意義でした。

・秋田、加藤両先生の実践でのお話が伺えて、実働に供する事が確認できてよい機会だったと思います。双方向の文化形成の情報発信へとどのようにつなげてゆくかが今後の課題だと再認識しました。